

介護職員・保険代理店・弁護士など  
介護事故に関わるみなさまへ

みんなで検討！



オンライン開催  
参加自由・無料

第5回開催3月22日

## 介護事故事例検討会のご案内

安全な介護では、毎月事故事例検討会を開催しています。主に特養や老健などの施設の介護事故事例を、みんなで検証したいと思います。介護職員や損害保険代理店や弁護士など、どなたでも参加は自由です(無料)。参加者に発言を求めることはありませんので、「事故カンファレンスの参考に聞いてみたい」という方もお気軽にご参加ください。

### ■ 事故事例検討会の進め方

山田から既にご案内している事故事例を改めて読み上げます。続いて、あらかじめ発言をお願いしている発言者の方と、下記の5つの視点で事例の検証を行います。最後に、全ての参加者のみなさまから、ご質問やご意見をいただきます。

次の5つの視点で事故を検証します。

1. 事故の過失の有無→防ぐべき事故だったのか？
2. 事故発生時の対処→マニュアル通り適切な対処ができたか？
3. 事故の原因分析→原因分析をしたか？それは適切だったか？
4. 再発防止策の検討→再発防止策を検討したか？それは適切だったか？
5. 事故後の家族対応→事故状況の説明など家族対応は適切だったか？

### ■ 第4回開催要領

主催:株式会社安全な介護 協力:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
日時:2022年3月22日(火) 13:30~15:00

参加資格:安全な介護にゅーす購読者の他、どなたでも参加できます

申し込み方法:下記のURLからお申込み下さい。締め切り後に参加招待状をお送りします。

<https://bit.ly/3GvZRga>

オンライン方式:ZOOMを使用します

締め切り:3月15日



【お問い合わせ先】

株式会社安全な介護 担当:山田  
豊島区西池袋5丁目26-15 久保田ビル2F  
TEL:03-5995-2275 FAX:03-5986-1776  
mail : info@anzen-kaigo.com

## 3月の事故事例

### えん下機能が正常な認知症の利用者の丸呑みによる誤えん事故

#### ●利用者の状況

○利用者の状況:男性 91歳 要介護4

■既往歴:アルツハイマー病、高血圧症、糖尿病、

■ADL:歩行自立、食事見守り、排泄一部介助必要、認知症・重度(コミュニケーション不可)

■服薬:メマリ-20mg フリバス錠 セロクセル100mg錠 セロクセル25mg錠 ラミクタール錠25mg デパケンR錠200mg プルゼニド錠12mg リスパダールOD錠0.5mg、

#### ●事故発生状況及び発生時の対応状況

Kさん(91歳男性)は認知症が重い要介護4の特別養護老人ホームの入所者です。食欲は旺盛で自力で摂取できるものの、時々手づかみで大量に食べ物を口に入れたり、口に食べ物を入れたまま早口で勢い良くしゃべるので、日頃から職員が注意して気付けば声をかけています。

ある日、Kさんが夕食に出された肉団子をそのまま口に入れて噛まずに飲み込んだため、喉に詰まり苦しみ始めました。近くに居た介護職がすぐに気付き、ハイムリックを施行し背部叩打法を行いました。回復しないので看護師を呼びました。看護師はすぐに吸引を施行しましたが、何も吸引できないので、看護師は救急車を要請しました。駆けつけた救命士は、喉の奥に詰まっている肉団子を鉗子で壊して掻き出そうとしましたが、作業に手間取り心肺停止となり病院で亡くなりました。

連絡を受けて病院に駆けつけて来た娘さんに対して、看護師が次のように説明しました。「Kさんは、認知症が重く食べ方には少し問題がありましたが、飲み込みも良く誤えん事故の危険はありませんでした。職員もすぐに気づいてマニュアル通り対応し、十分な救命対応をいたしました。申し分けありませんが、今回の事故は不可抗力の事故です」と。

#### ●事故後の家族への対応

その後娘さんは施設長に対して、「父は以前からたくさん食べ物を口に入れる癖があった。直径3.3センチもある大きな肉団子をそのまま食べさせるのは、危険ではないか？」と施設の責任を追及しました。しかし、施設長は「お父様はえん下機能に障害が無く、誤えんの危険はありませんでした。介護計画書には普通食と記載されていて、お嬢様もこちらに印鑑を押されています」と無過失を主張します。翌週、娘さんから「知り合いの弁護士に相談したいので、調査報告書が欲しい」と言ってきましたが、施設では介護計画書のコピーを付けて、「嚥下機能に障害が無いのだから不可抗力である」と書面で報告してきました。娘さんは賠償訴訟を起こしました。

# 事故事例検討用紙

●過失の有無 [防ぐべき事故だったか?]

●事故発生時の対処 [事故対応は適切だったか?]

●原因分析 [原因分析をしたか?それは適切だったか?]

●再発防止策検討 [再発防止策を検討したか?それは適切だったか?]

●事故後の家族への対応 [事故状況の説明など家族対応は適切だったか?]